

【参考資料5】

令和8年（2026年）3月
宝塚市健康福祉部 健康推進課



宝塚市の母子保健と女性の健康：基盤から未来へ

【未来】生涯のウェルビーイングへ



① 女性の生涯の健康づくり

- 妊娠・出産から「女性の生涯のウェルビーイング」へと支援の視点を拡大（ジェンダー、産後うつ、メンタルヘルス等）



② こどもの保健から福祉へより強く結ぶ

- 医療から保健、保健から福祉へこどもの支援を確実につなぐ



③ デジタルの活用 (電子版母子健康手帳など)

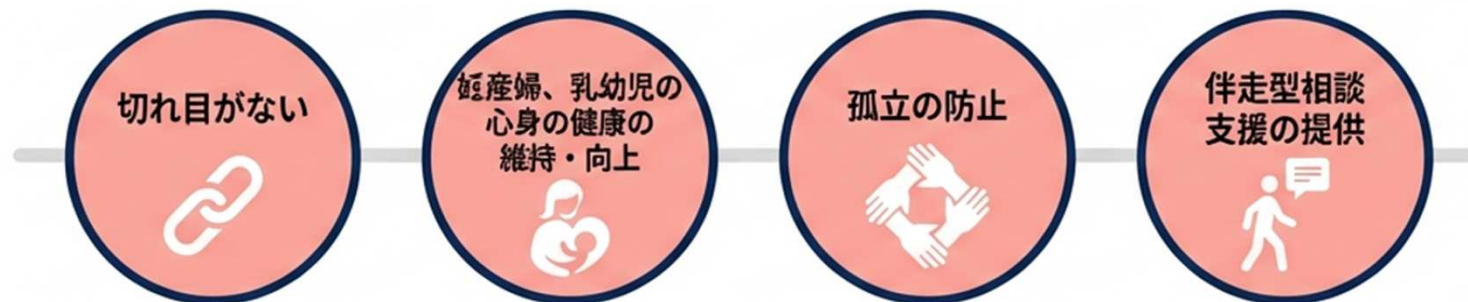
- 本人を中心に、医療・福祉・保健・教育等をデジタルでつなぐ

【基盤】切れ目のない母子保健

すべての命のはじまりに、安心と幸せを

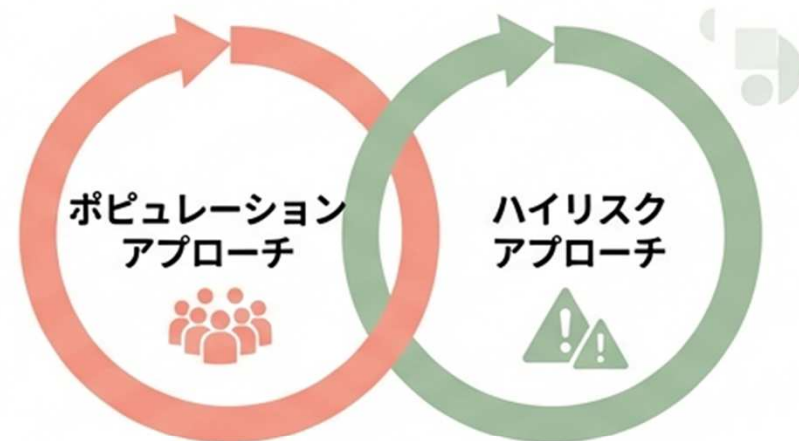


包括的な母子保健を構成する要素

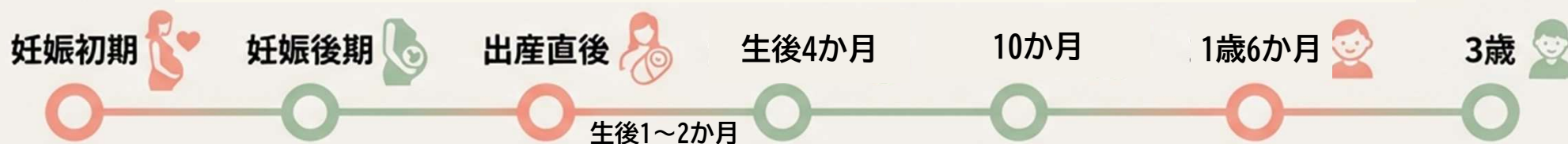


こどもの状況を100%把握する強いセーフティネット

100% 状況把握

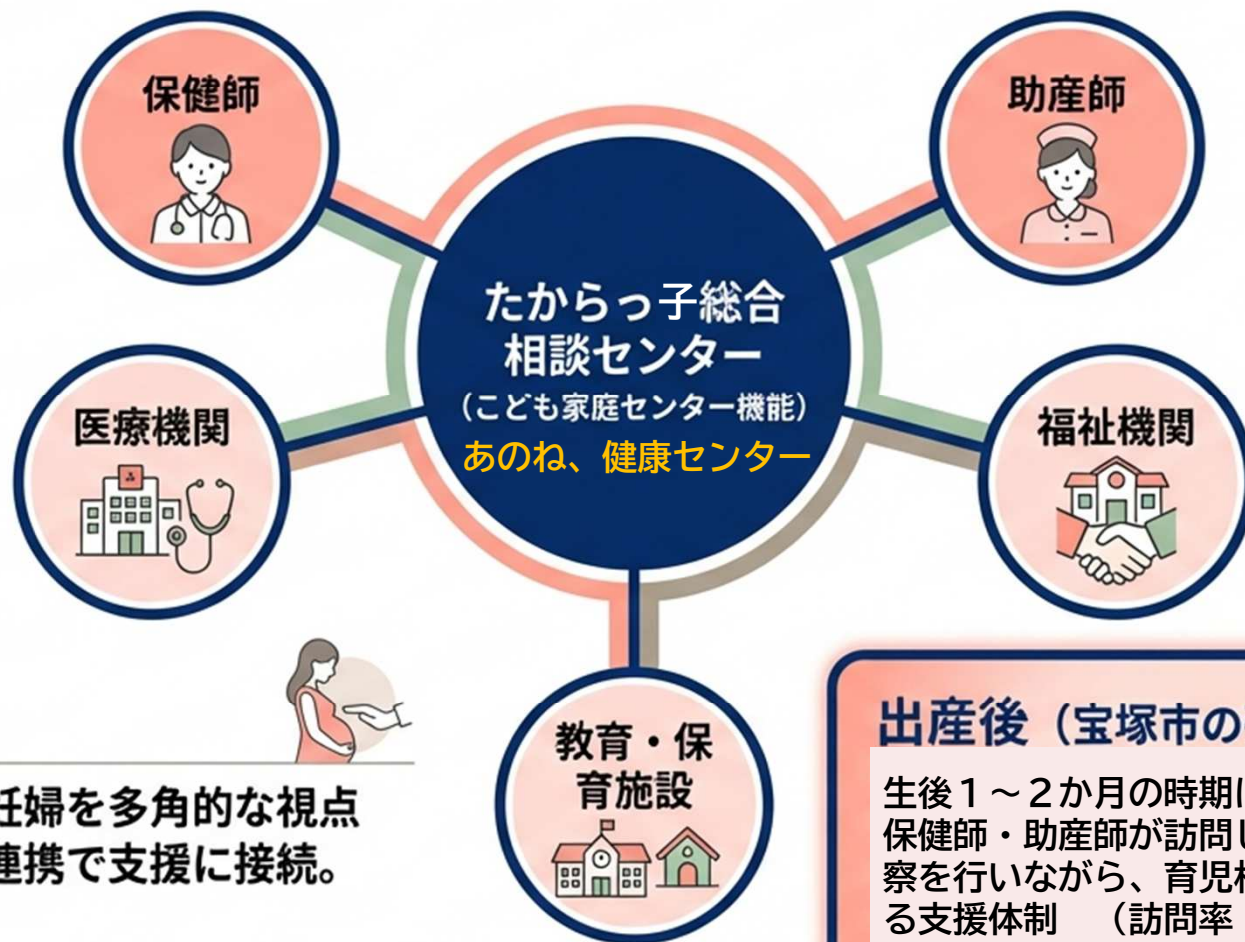


こどもが3歳になるまで、計7回の面談機会



妊産婦・乳幼児への健康や子育て支援情報の提供、児童虐待防止の強固なセーフティネット
リスクの状況をスクリーニングし、必要に応じて医療や福祉に確実につなぐ伴走型支援体制

こども家庭センターとしての連携体制



出産前



支援が必要な特定妊婦を多角的な視点で発見し、多職種連携で支援に接続。

出産後（宝塚市の強み）



生後1～2か月の時期に、すべての乳児家庭を保健師・助産師が訪問し、産婦と乳児の健康観察を行いながら、育児相談に応じる専門職による支援体制（訪問率：98%）

【未来①】 治療から予防へ：女性のウェルビーイング向上

必要な時に、必要な相談に応じられる体制の構築。



妊娠・出産時の リスク管理

妊娠糖尿病、妊娠高血圧
の継続的なケア。



メンタルヘルスケア

産後うつへの
切れ目のない対応等。



生涯の健康維持

更年期障害への対応、がん
検診などのサポート体制拡充。

【未来②】 こどもの保健と福祉をより強く結ぶ



医療から保健、保健から福祉へ、こどもの支援を治療から予防へと確実につなぐ